

# 令和6年度 保育士確保等に関する 実態調査

---

令和7年3月

島根県 健康福祉部 子ども・子育て支援課

## 調査の目的

保育士確保に関する実態や課題・問題点等を把握し、県及び市町村での保育士確保のための検討材料とすることを目的として調査を実施。

## 調査の概要

### 【調査対象】

島根県内の保育所、認定こども園、地域型保育事業所、  
認可外保育施設  
調査票回収数 331施設（回収率：92.2%）

### 【調査期間】

令和6年12月～令和7年2月

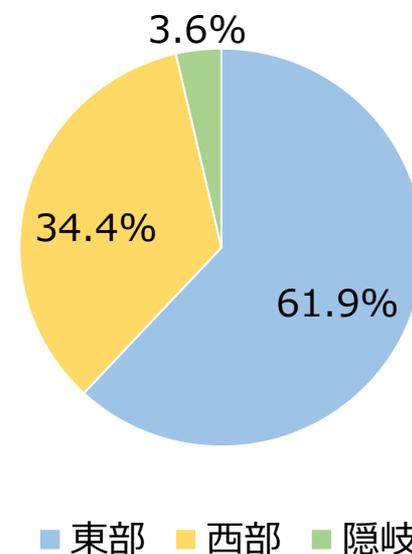
### 【調査方法】

市町村を介して調査票データの配布・県へ直接データ  
回答

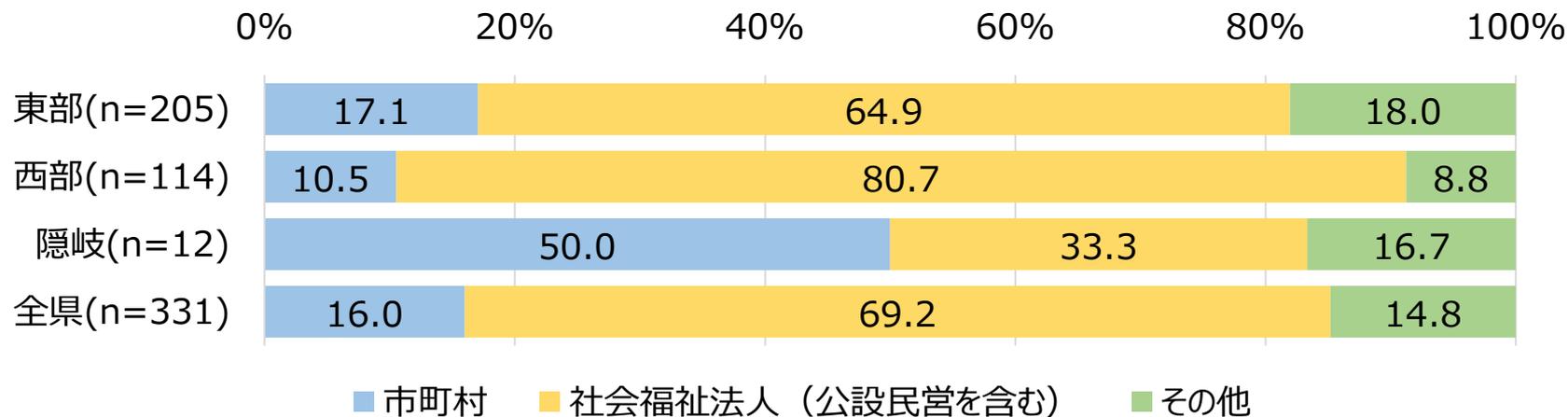
### 【主な設問項目】

保育士の採用状況・離職者の状況  
保育士の確保のしやすさ

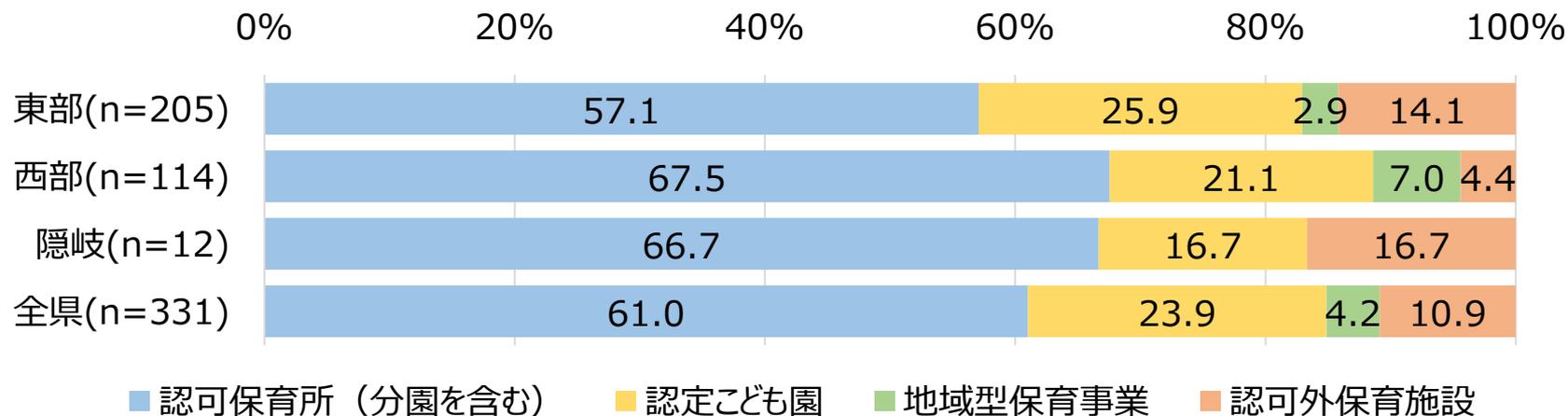
回答施設の所在地(n=331)



## 運営主体

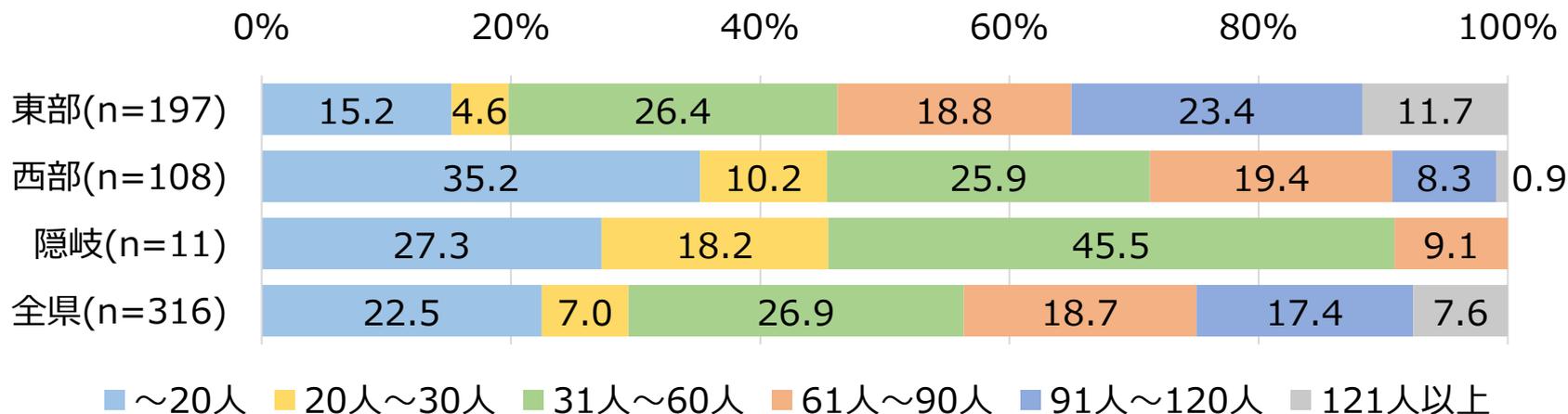


## 施設種別



運営主体は、全県で約7割が社会福祉法人だが、隠岐は5割が市町村。  
施設種別は、全県で約6割が認可保育所。

## 2・3号認定



利用定員数について、2・3号認定は、31~60人の施設が最も多い。定員が~30人の小規模な施設が全県で約3割、西部では約半数を占める。東部は91人以上の大規模な施設が約3割あるが、西部は1割未満、隠岐にはない。

# 勤務保育士の実人数（令和6年4月1日時点）

	東部(n=201)	西部(n=114)	隠岐(n=12)	全県(n=327)
正規職員（人）	2,109 (57.0%)	800 (58.4%)	75 (62.5%)	2,984 (57.5%)
産休・育休中	130 (6.2%)	30 (3.8%)	1 (1.3%)	161 (5.4%)
離職経験あり	392 (18.6%)	154 (19.3%)	8 (10.7%)	554 (18.6%)
非正規職員（常勤）（人）	743 (20.1%)	251 (18.3%)	21 (17.5%)	1,015 (19.6%)
産休・育休中	17 (2.3%)	12 (4.8%)	1 (4.8%)	30 (3.0%)
離職経験あり	264 (35.5%)	70 (27.9%)	2 (9.5%)	336 (33.1%)
非正規職員（非常勤）（人）	849 (22.9%)	318 (23.2%)	24 (20.0%)	1,191 (22.9%)
産休・育休中	30 (3.5%)	2 (0.6%)	0 (0.0%)	32 (2.7%)
離職経験あり	301 (35.5%)	101 (31.8%)	6 (25.0%)	408 (34.3%)
合計（人）	3,701	1,369	120	5,190
産休・育休中	177 (4.8%)	44 (3.2%)	2 (1.7%)	223 (4.3%)
離職経験あり	957 (25.9%)	325 (23.7%)	16 (13.3%)	1,298 (25.0%)

( ) 内は職員数に対する割合

勤務保育士のうち、約6割が正規職員で、非正規職員（常勤）と非正規職員（非常勤）がそれぞれ約2割となっている。離職経験については、正規職員の約2割、非正規職員は常勤・非常勤ともに約3割が「離職経験あり」と回答。

# 勤務保育士の実人数（令和6年10月1日時点）

	東部(n=202)	西部(n=114)	隠岐(n=12)	全県(n=328)
正規職員（人）	2,089 (56.3%)	792 (58.1%)	76 (61.8%)	2,957 (56.9%)
産休・育休中	135 (6.5%)	34 (4.3%)	2 (2.6%)	171 (5.8%)
離職経験あり	380 (18.2%)	161 (20.3%)	8 (10.5%)	549 (18.6%)
非正規職員（常勤）（人）	754 (20.3%)	250 (18.3%)	21 (17.1%)	1,025 (19.7%)
産休・育休中	27 (3.6%)	8 (3.2%)	1 (4.8%)	36 (3.5%)
離職経験あり	266 (35.3%)	68 (27.2%)	3 (14.3%)	337 (32.9%)
非正規職員（非常勤）（人）	870 (23.4%)	321 (23.6%)	26 (21.1%)	1,217 (23.4%)
産休・育休中	25 (2.9%)	3 (0.9%)	1 (3.8%)	29 (2.4%)
離職経験あり	306 (35.2%)	108 (33.6%)	8 (30.8%)	422 (34.7%)
合計（人）	3,713	1,363	123	5,199
産休・育休中	187 (5.0%)	45 (3.3%)	4 (3.3%)	236 (4.5%)
離職経験あり	952 (25.6%)	337 (24.7%)	19 (15.4%)	1,308 (25.2%)

( ) 内は職員数に対する割合

10月時点の正規職員数は、4月時点に比べてわずかに減少。一方、非正規職員数は常勤・非常勤ともにわずかに増加。なお、「離職経験あり」と回答した職員の割合は4月時点と比較すると、正規職員、非正規職員ともに大きな差はない。

# 保育士の求人と採用の状況（令和6年4月中に配置）

		東部(n=121)	西部(n=47)	隠岐(n=6)	全県(n=174)
正規職員	求人数（人）	158	38	10	206
	採用数（人）	112	32	6	150
	うち、新卒採用	79	17	1	97
	うち、県内養成校出身者	56	7	0	63
	充足率	70.9%	84.2%	60.0%	72.8%
	【参考】R5調査	78.9%	68.3%	66.7%	76.5%
非正規職員（常勤）	求人数（人）	43	16	2	61
	採用数（人）	26	12	0	38
	うち、新卒採用	9	7	0	16
	うち、県内養成校出身者	9	2	0	11
	充足率	60.5%	75.0%	0.0%	62.3%
	【参考】R5調査	57.5%	88.2%	0.0%	62.6%

令和6年4月採用のために行った求人の状況について、充足率は正規職員が約7割、非正規職員（常勤）が約6割であり、正規職員の充足率は、隠岐が最も低く、次に東部、西部の順に低い。

また、採用数のうち、正規職員で約6割、非正規職員（常勤）で約4割が新卒者となっている。

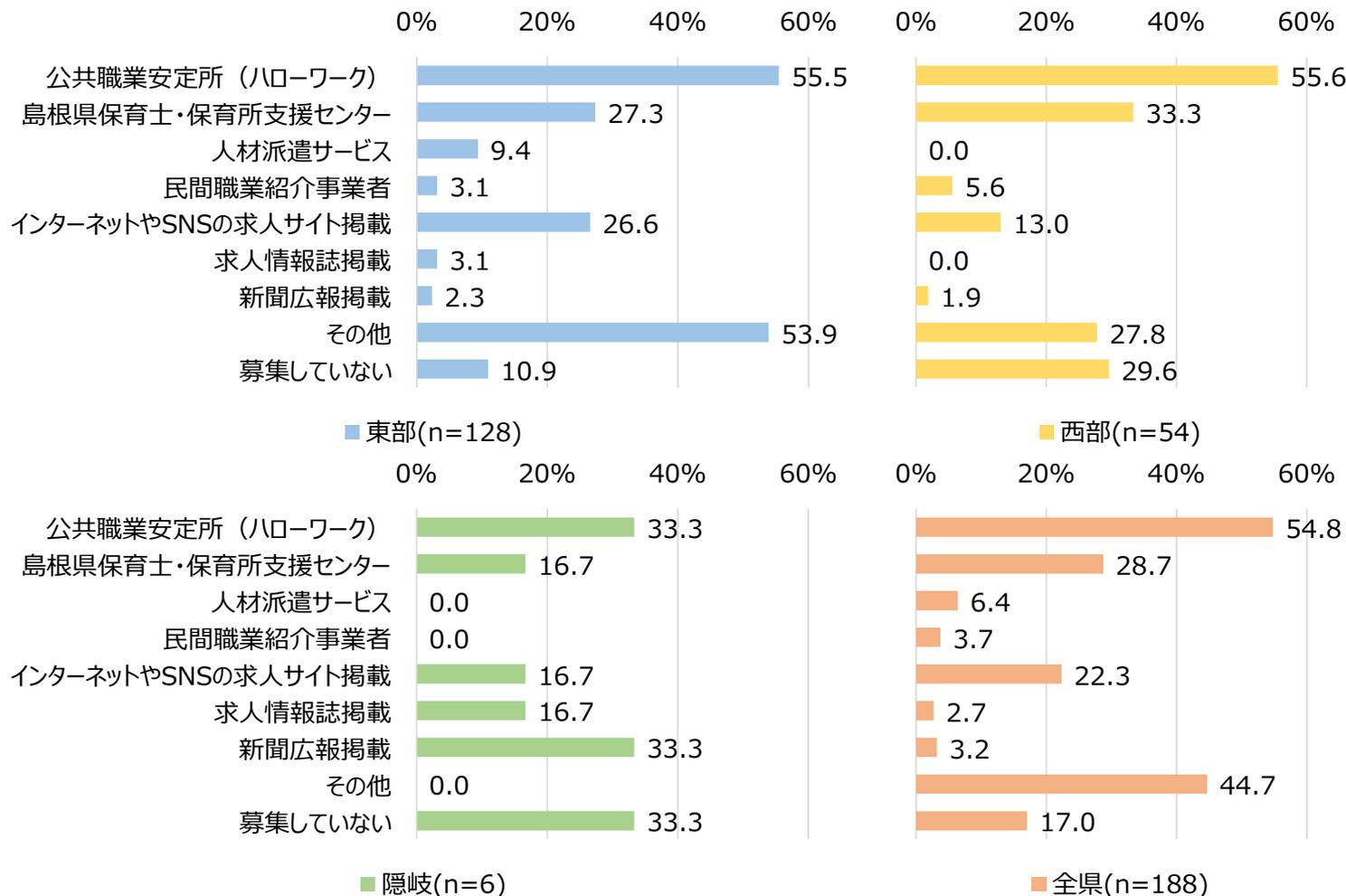
# 保育士の求人と採用の状況（令和5年中途に配置）

		東部(n=94)	西部(n=43)	隠岐(n=4)	全県(n=141)
正規職員	求人数（人）	79	29	4	112
	採用数（人）	44	9	0	53
	うち、新卒採用	16	4	0	20
	うち、県内養成校出身者	10	4	0	14
	充足率	55.7%	31.0%	0.0%	47.3%
	【参考】R5調査	38.6%	38.9%	0.0%	37.2%
非正規職員（常勤）	求人数（人）	38	11	1	50
	採用数（人）	32	4	0	36
	うち、新卒採用	3	0	0	3
	うち、県内養成校出身者	1	0	0	1
	充足率	84.2%	36.4%	0.0%	72.0%
	【参考】R5調査	35.7%	81.3%	0.0%	47.5%

令和5年中途採用のために行った求人の状況について、東部は正規職員、非正規職員（常勤）ともに昨年度調査に比べて充足率が上がっている一方、西部では正規職員、非正規職員（常勤）ともに昨年度調査と比べて充足率が下がっている。

## 新卒者

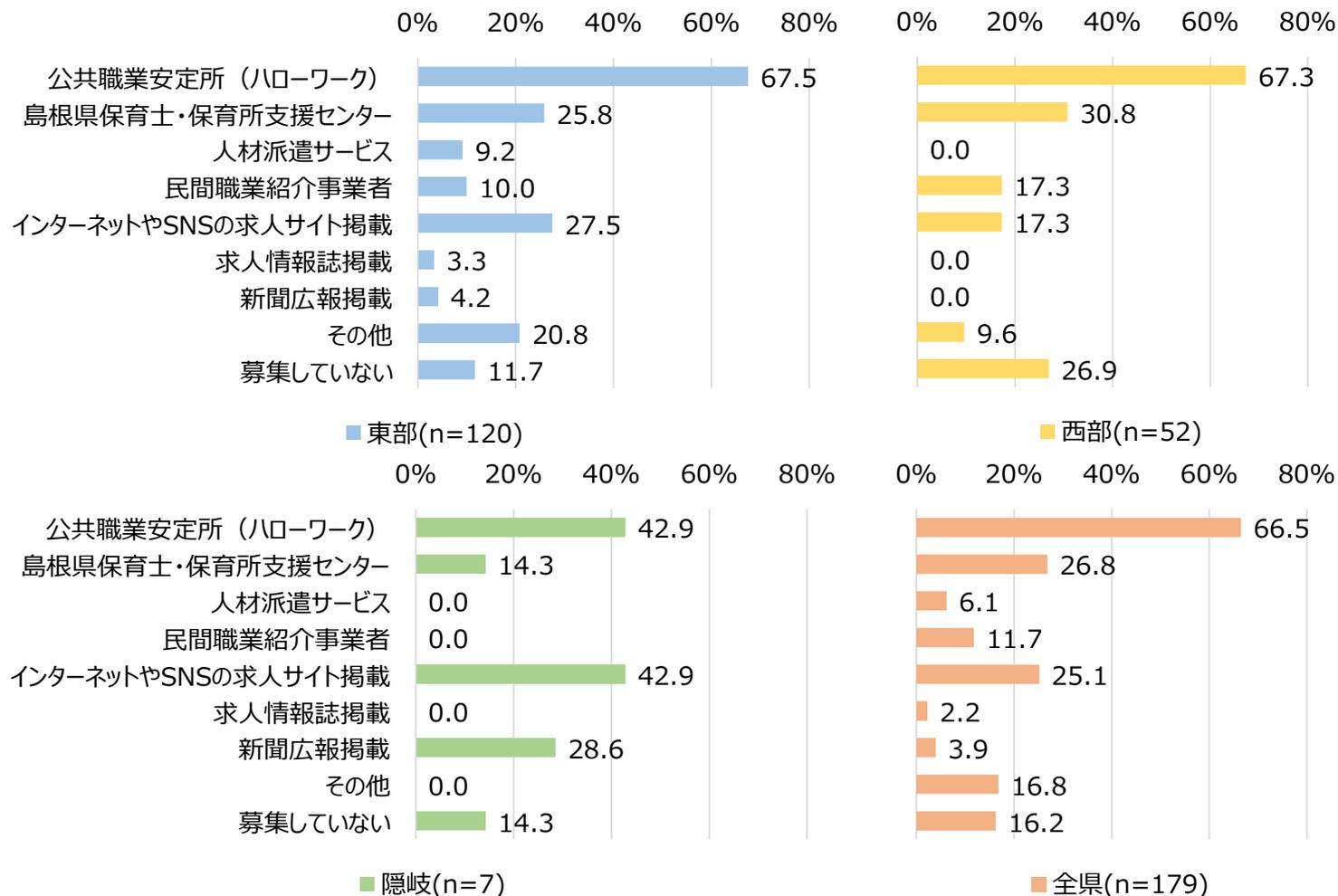
※上位3つを選択



全県では、「公共職業安定所（ハローワーク）」が最も多く、次点で「島根県保育士・保育所支援センター」や「インターネットやSNSの求人サイト掲載」が多い。また、「その他」の回答が多く、その内容としては養成校へ求人・相談や、HPへの掲載が多く見られる。

## 新卒者以外

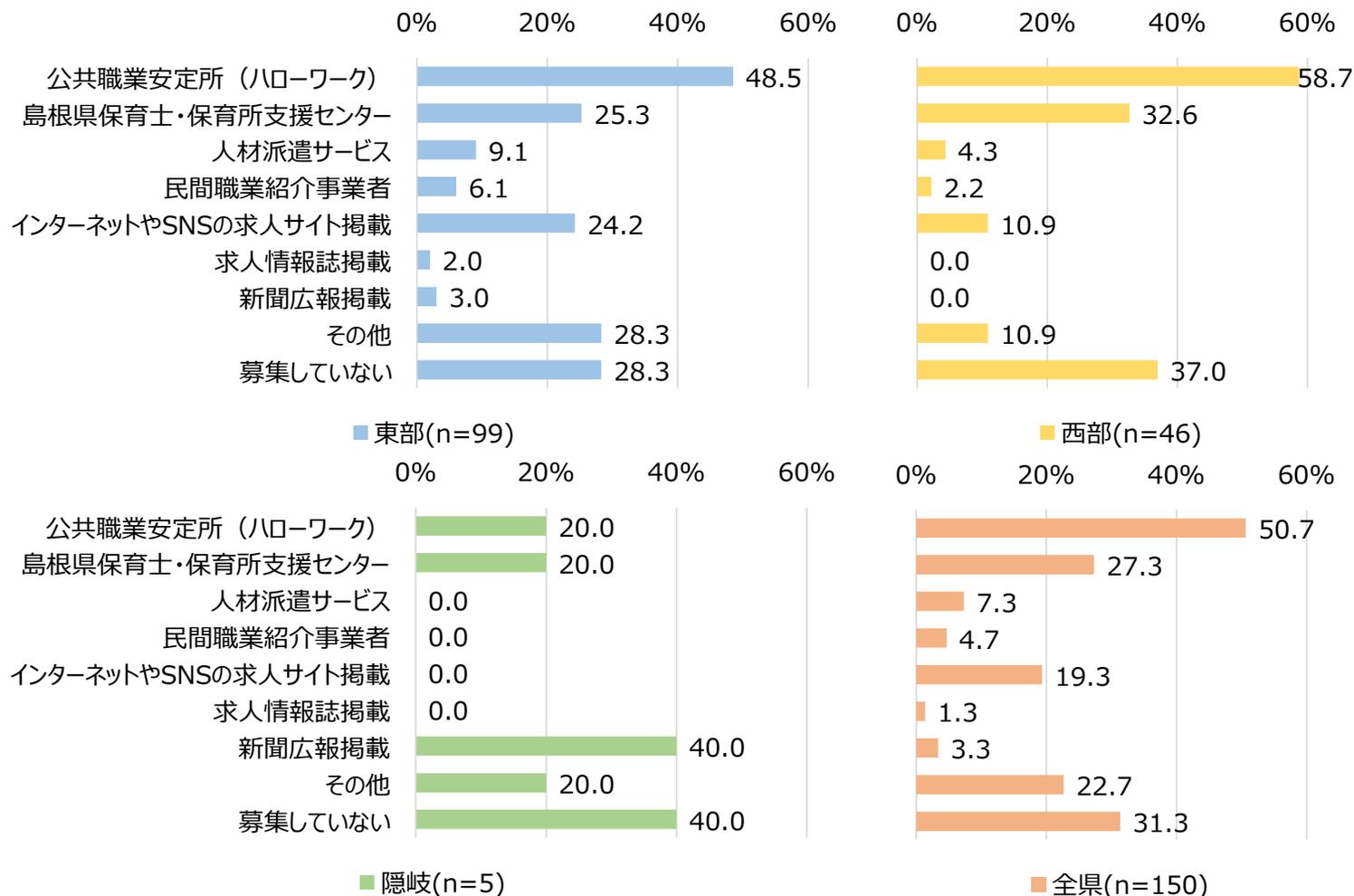
※上位3つを選択



新卒者の求人と同様に、全県では「公共職業安定所（ハローワーク）」が最も多く、次点で「島根県保育士・保育所支援センター」や「インターネットやSNSの求人サイト掲載」が多い。

## 新卒者

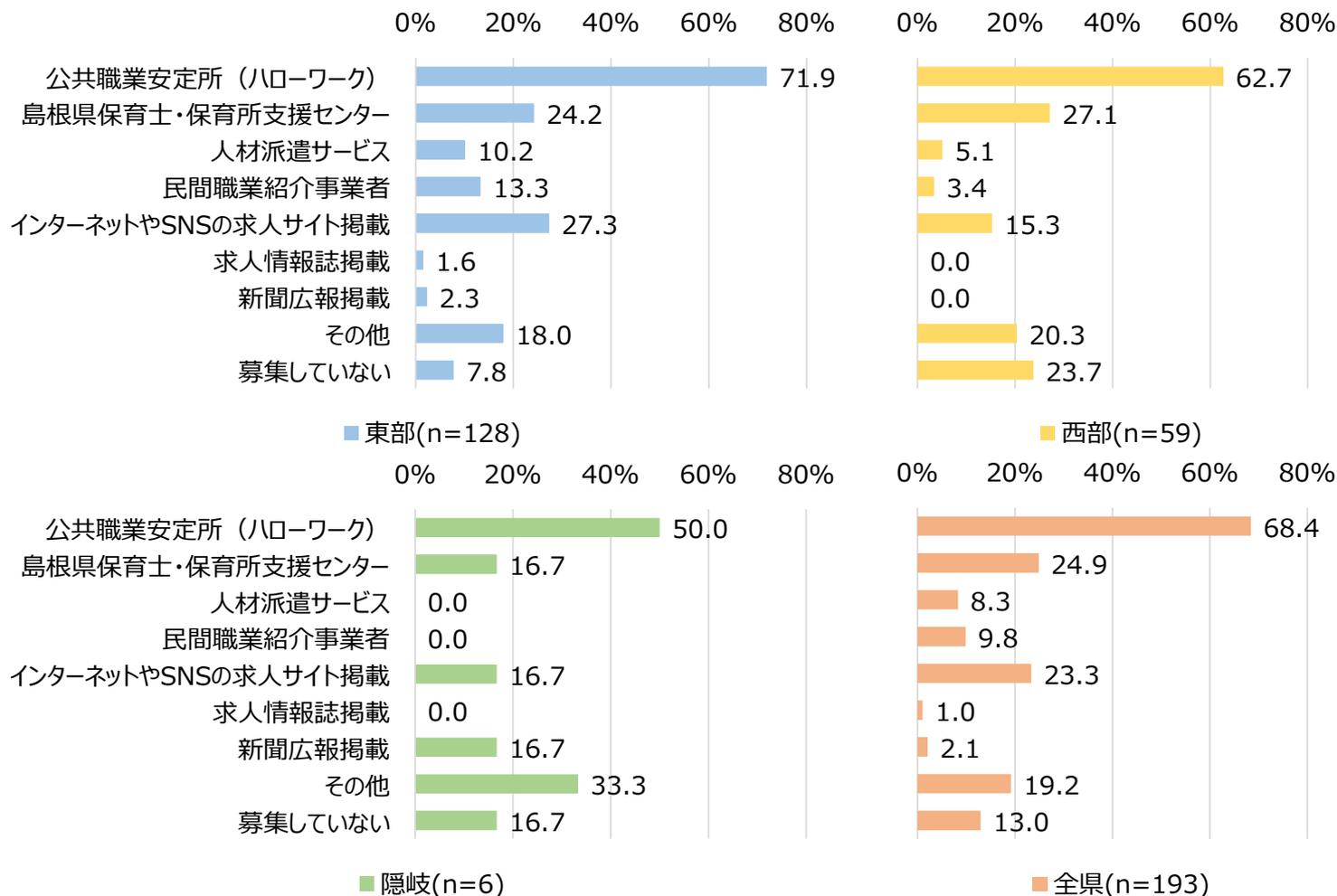
※上位3つを選択



正規職員の求人と同様に、全県では「公共職業安定所（ハローワーク）」が最も多く、次点で「島根県保育士・保育所支援センター」や「インターネットやSNSの求人サイト掲載」が多い。隠岐では「新聞広報掲載」が最も多い。

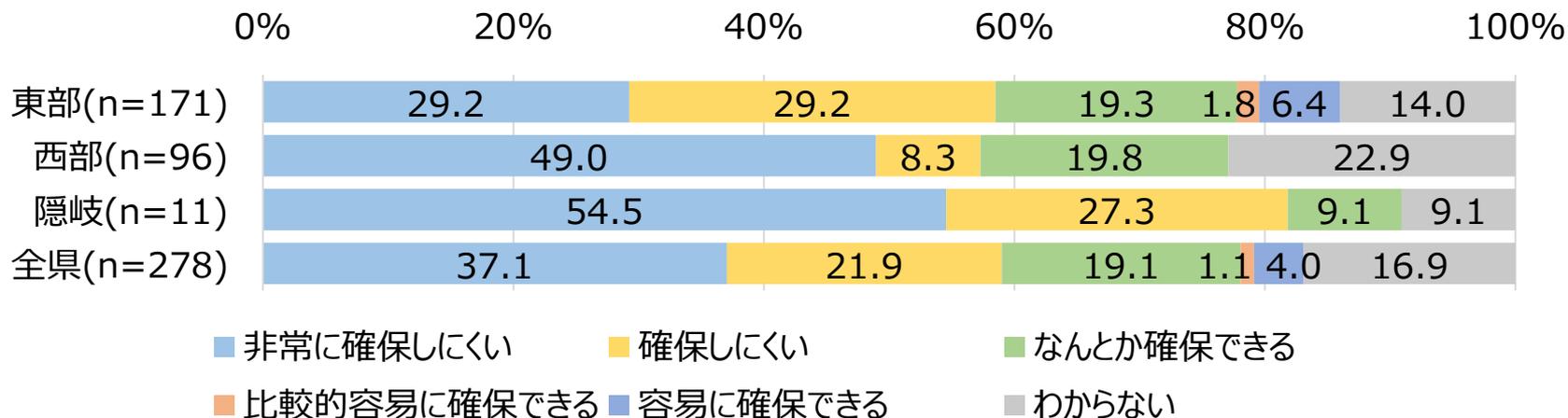
## 新卒者以外

※上位3つを選択

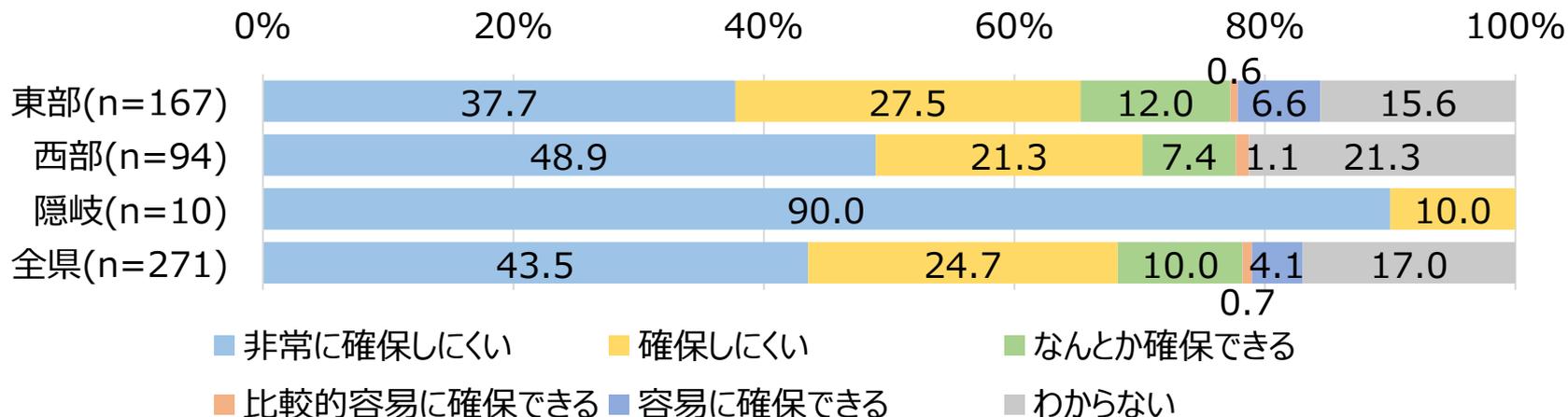


正規職員の求人と同様に、全県では「公共職業安定所（ハローワーク）」が最も多く、次点で「島根県保育士・保育所支援センター」や「インターネットやSNSの求人サイト掲載」が多い。

## 新卒者

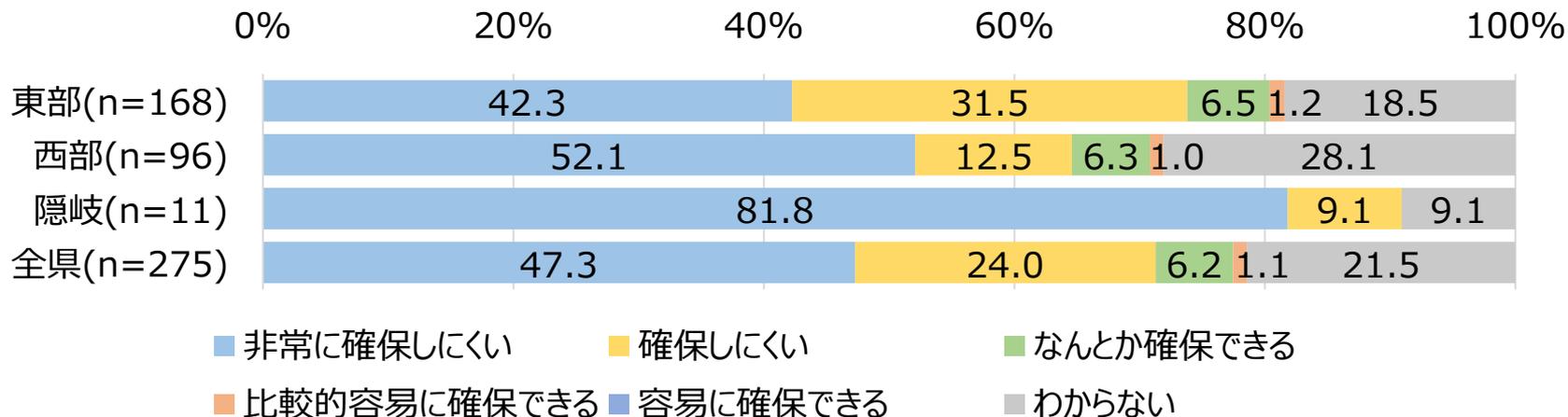


## 新卒者以外

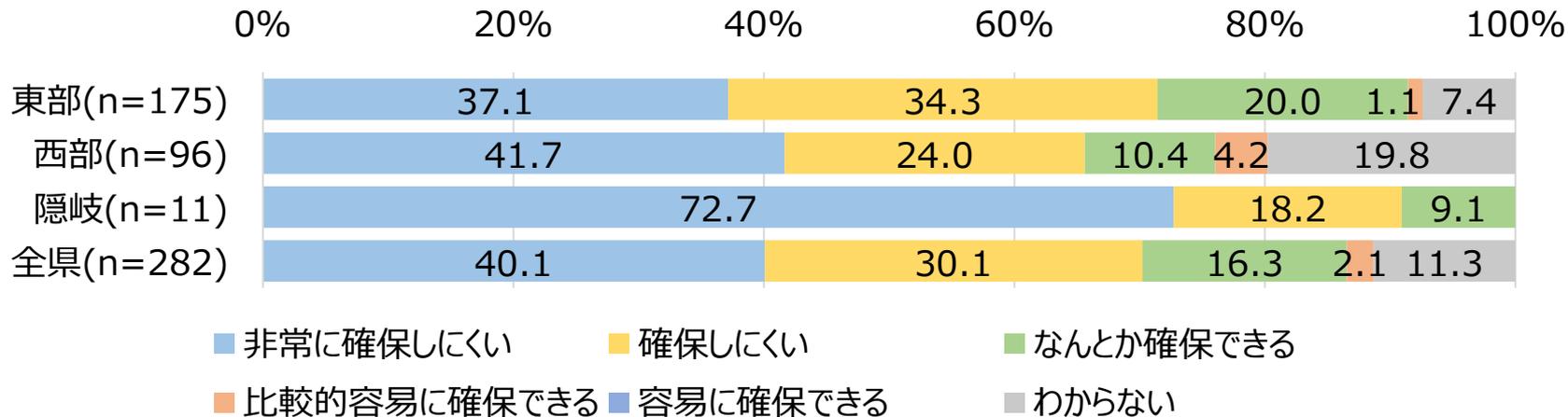


正規職員の確保について、全県では新卒者・新卒者以外ともに約6~7割が「非常に確保しにくい・確保しにくい」と回答。特に隠岐は「非常に確保しにくい」の回答割合が高い。一方、東部では「容易に確保できる」と回答した施設も見られる。

## 新卒者



## 新卒者以外

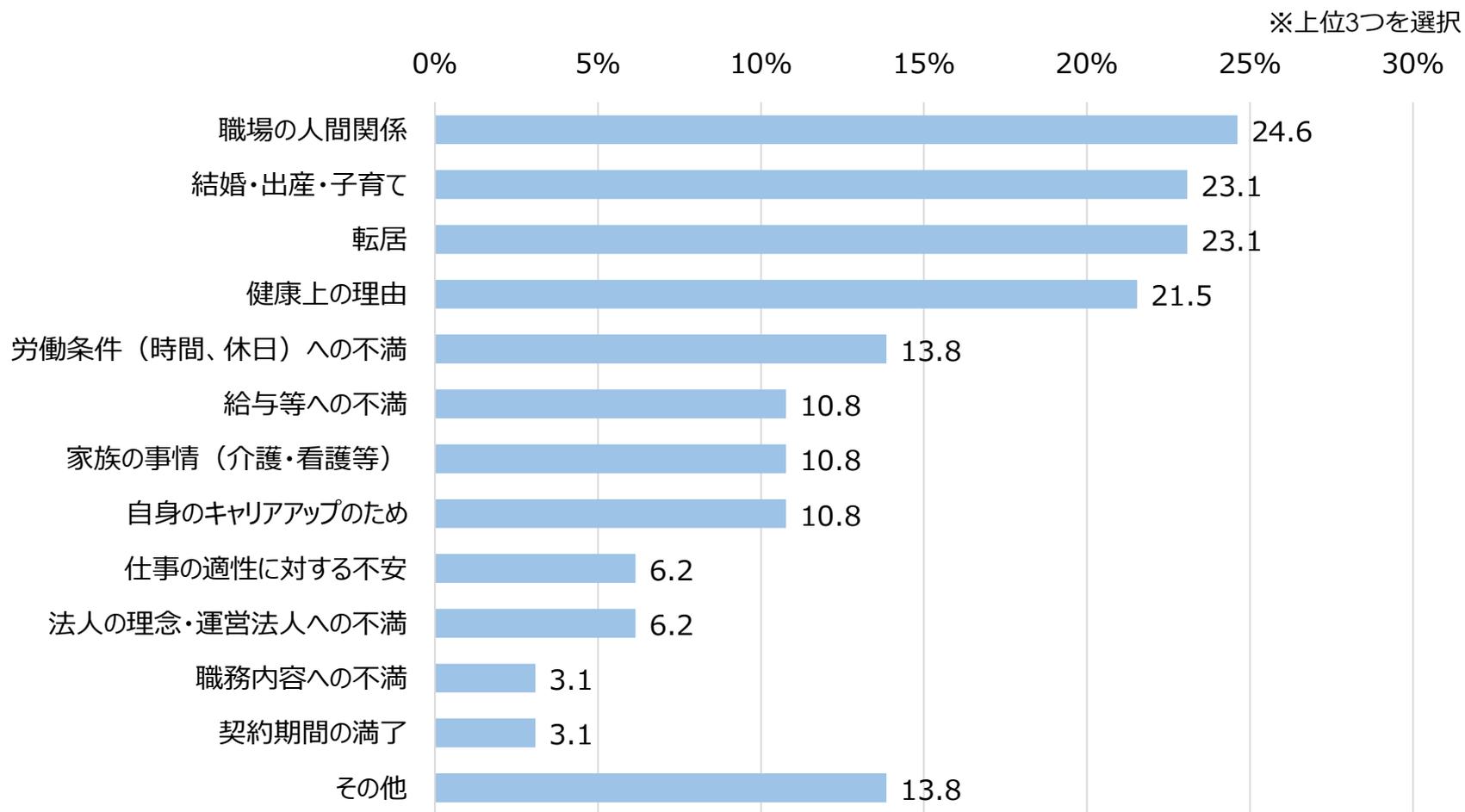


非正規職員の確保について、全県では新卒者・新卒者以外ともに約7割が「非常に確保しにくい・確保しにくい」と回答。正規職員と同様に、隠岐は「非常に確保しにくい」の回答割合が高い。

		半年未満	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計
正規職員(n=134)	20代	4	9	46	29	32	120
	30代	1	2	10	5	28	46
	40代	0	0	4	5	26	35
	50代	0	0	1	1	20	22
	60代以上	2	1	1	0	15	19
	合計	7	12	62	40	121	242
非正規職員(n=98)	20代	8	6	8	6	5	33
	30代	4	8	9	6	11	38
	40代	4	6	6	4	9	29
	50代	1	5	4	4	9	23
	60代以上	4	0	5	6	28	43
	合計	21	25	32	26	62	166

(人数)

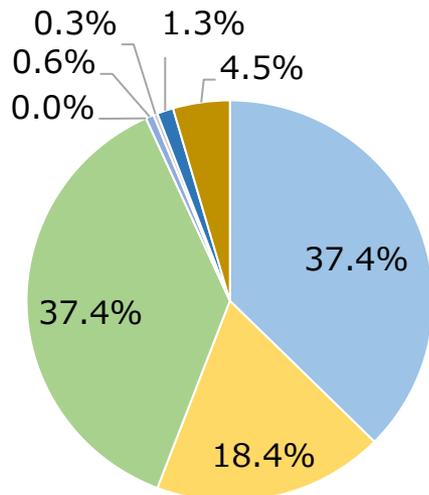
正規職員のうち、20代の離職者数は他年代と比較すると、半年未満から5年以上のすべての勤務年数において最も多い。一方、非正規職員の離職者数は年代によって大きな差はなく、60代以上で5年以上勤務した職員の離職者数が最も多い。



(n=65)

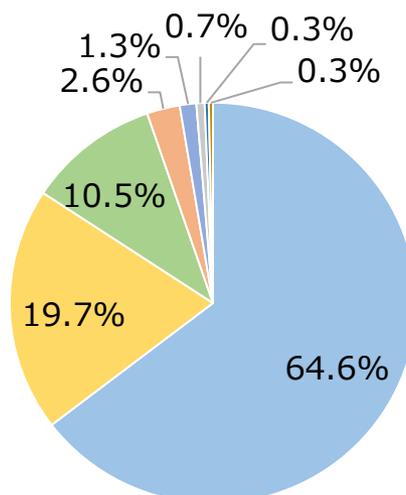
「職場の人間関係」、「結婚・出産・子育て」、「転居」、「健康上の理由」がそれぞれ2割台で上位を占めている。

時間外労働時間が  
最長の役職(n=310)



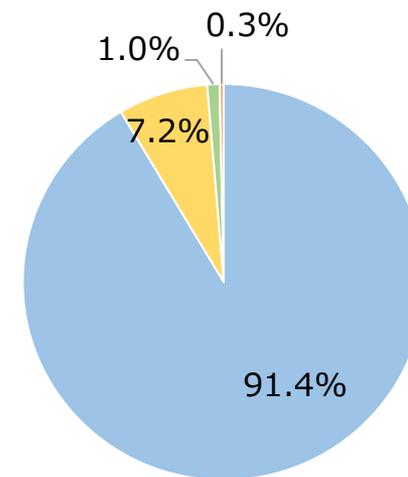
- 理事長・園長等の管理職
- 主任保育士・主幹保育教諭
- 保育士・保育教諭
- 子育て支援員・保育補助者等
- 看護師
- 栄養士・調理師
- 事務員
- その他

最長の職員の時間外  
労働時間 (n=305)



- 10時間未満
- 10時間以上20時間未満
- 20時間以上30時間未満
- 30時間以上40時間未満
- 40時間以上50時間未満
- 50時間以上60時間未満
- 60時間以上70時間未満
- 70時間以上80時間未満

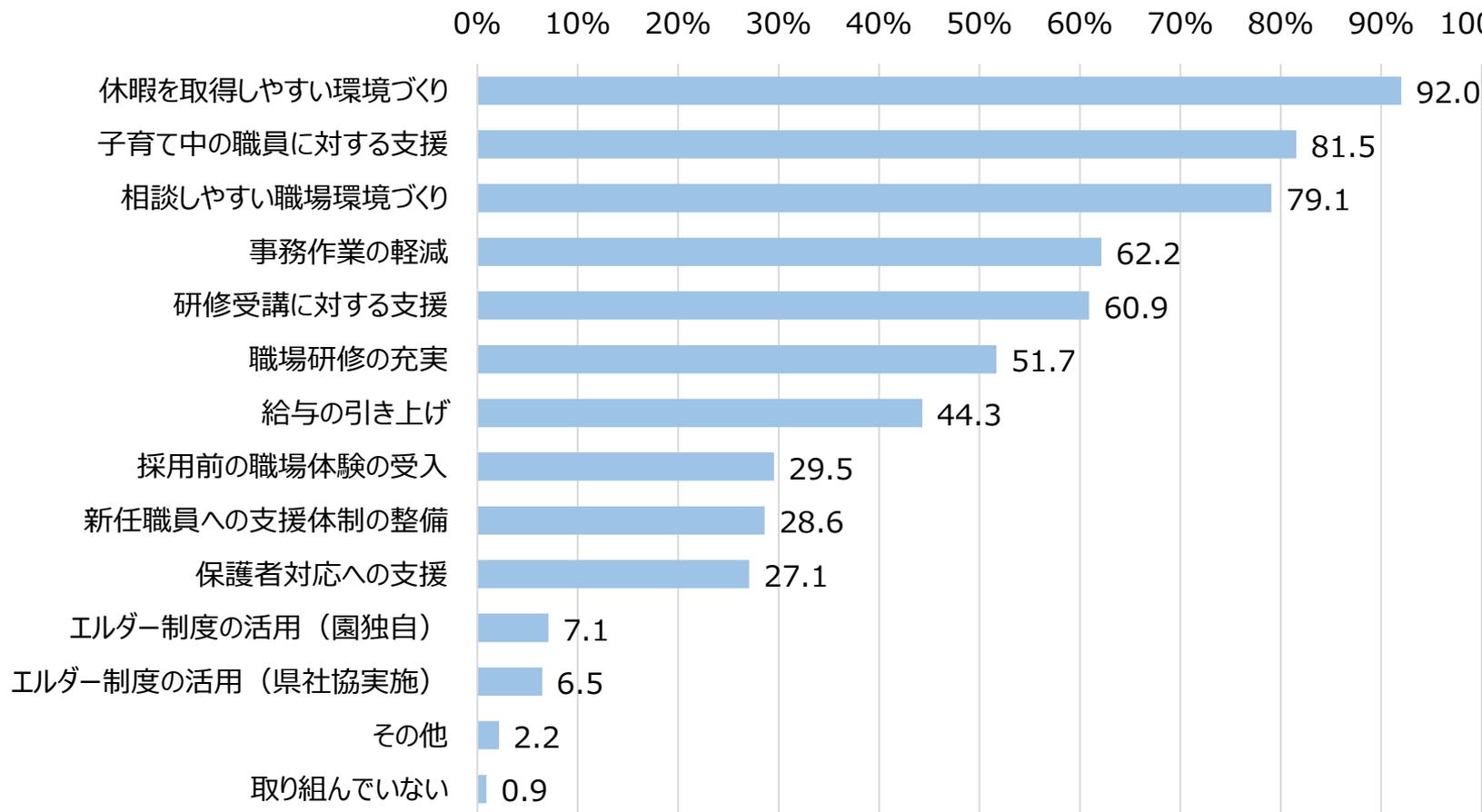
職員の平均時間外  
労働時間 (n=304)



- 10時間未満
- 10時間以上20時間未満
- 20時間以上30時間未満
- 30時間以上40時間未満

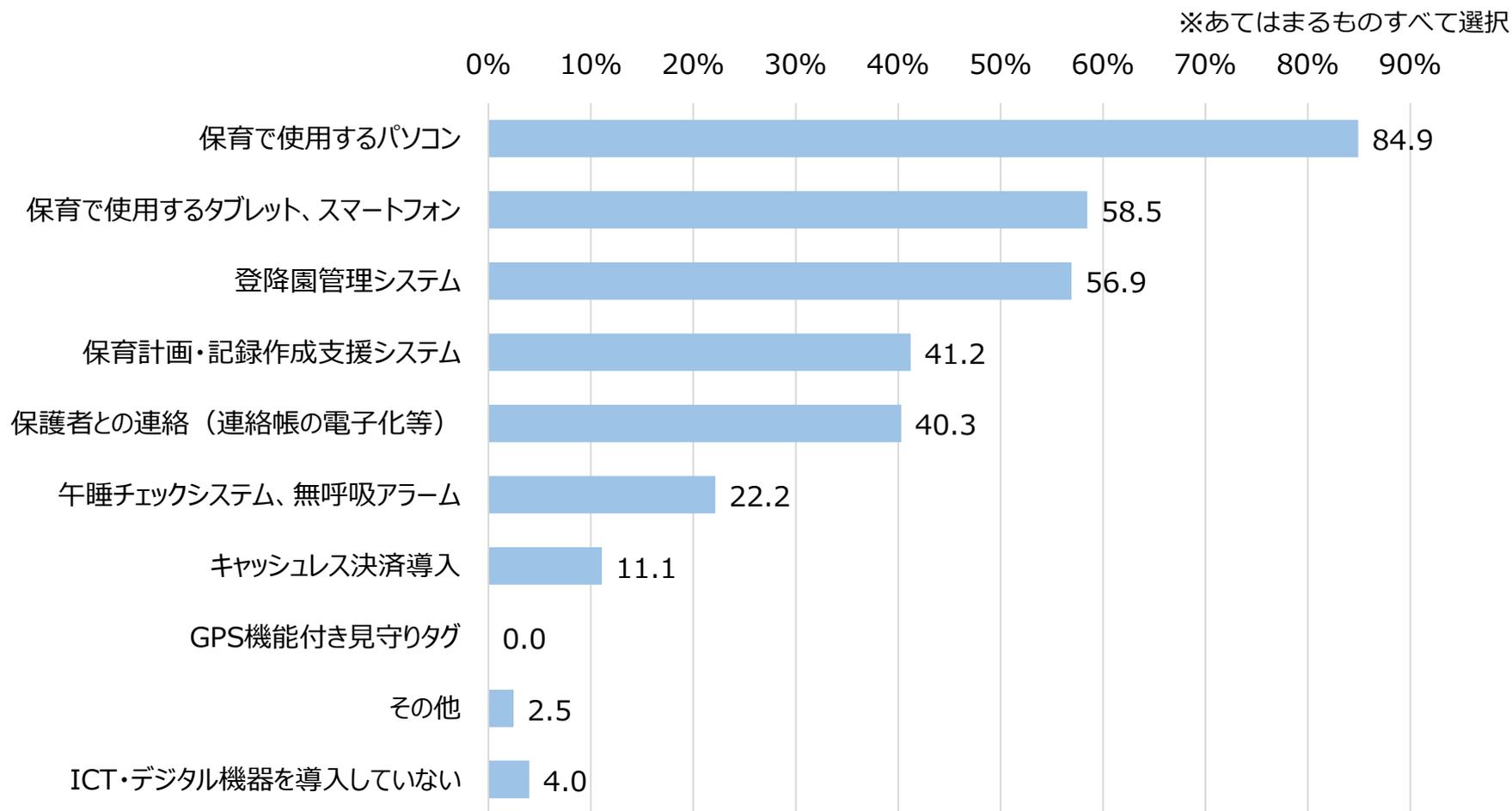
時間外労働時間が最長の役職は、「理事長・園長等の管理職」と「保育士・保育教諭」がそれぞれ約4割。最長職員の時間外労働時間は「10時間未満」が約6割と最も多い。また、職員の平均時間外労働時間は「10時間未満」が約9割。

※あてはまるものすべて選択



(n=325)

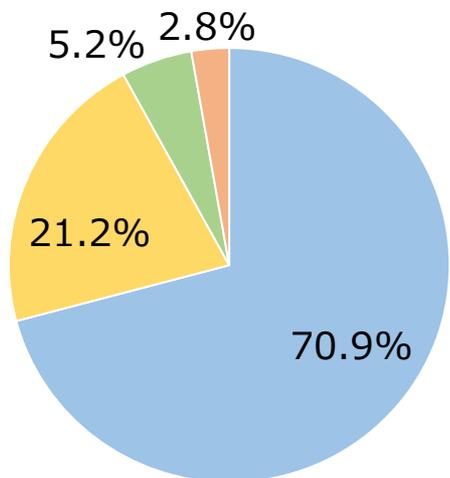
約8～9割の施設が保育士確保・離職防止に向けて、「休暇を取得しやすい環境づくり」、「子育て中の職員に対する支援」、「相談しやすい職場づくり」に取り組んでいる。



(n=325)

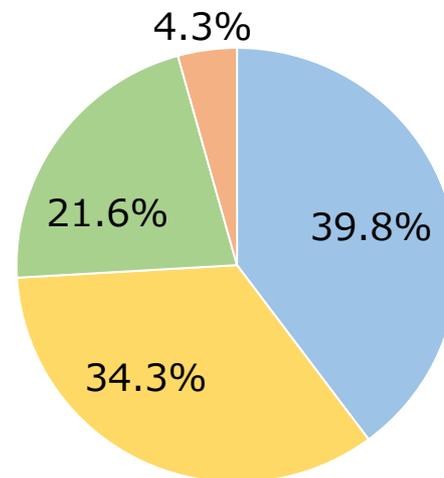
「パソコン」は8割以上、「タブレット・スマートフォン」、「登降園管理システム」は5割以上の施設が導入。一方、「午睡チェックシステム・無呼吸アラーム」、「キャッシュレス決済」、「GPS機能付き見守りタグ」の導入率は低い。

## 不適切保育防止の研修(n=326)



- 実施している
- 今後実施を検討している
- 実施する予定はない
- その他

## 性暴力防止の研修 (n=324)



- 実施している
- 今後実施を検討している
- 実施する予定はない
- その他

不適切保育防止の研修は、実施または実施を検討している施設が約9割。

性暴力防止の研修は、実施または実施を検討している施設が約7割。約2割の施設が実施を予定していない。